

学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー（2024年度）

経済学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

経済学部では、下記の事項を達成した者に対し、学士の学位を授与する。

1. 経済学の基礎的理論を理解し、それに基づいて現実の経済社会の諸事象を説明できる。
2. 地域経済や国際経済、金融・公共部門が抱える諸問題を理解し、それに取り組む能力を修得している。
3. 多様な文化と価値を知った上で、現実の問題解決能力と、公共の福祉に寄与するためのモラルや人間力を備えている。

商学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

商学部では、「産学一如」の理想と人材育成の目標に基づき、以下の知識や能力を修得した学生に学位を授与する。

1. 幅広い教養と職業人として必要な基礎的知識を身につけている。
2. 企業経営、ファイナンス、会計、マーケティング、国際ビジネス、社会情報に関する専門的な知識を身につけている。
3. 自ら問題を設定し、それを解決することができる。
4. 主体的に行動し、最後までやり遂げることができる。
5. 他者とコミュニケーションを図りながら、自らの考え方や意見を伝えることができる。

地域共創学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

地域共創学部では、本学部が掲げる人材養成の目的に沿って構成されたカリキュラムのもと、地域を支援するために必要な理論的かつ実践的な知識と技能を兼ね備え、社会で活躍できる人材の育成を目指している。そのために教育課程の中から指定された単位を含め、124単位以上を修得し、共創的な相互作用の発現に必要な幅広い教養、専門的知識、課題解決能力を身につけた者に対して学士の学位を授与する。

《観光学科》

観光学科では、次の能力を身につけた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 観光学に関する基本的知識を習得している。
2. 観光の諸問題を理解して課題を発見し、論理的に分析し考察する力を身につけている。
3. 九州・アジアに生起する観光の諸問題に積極的な関心を持ち続けることができる。
4. 自主的な学習を通じて、社会人としての自覚を持ち、責任を果たすことができる。
5. 観光の諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・検討・整理・統合する力を身につけている。自らの思考・判断のプロセスを明確に説明し、文章で表現する力を習得している。

《地域づくり学科》

地域づくり学科では、次の能力を身につけた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 地域の課題を理解し、幅広い教養知をもとに説明することができる。
2. 地域の課題を探る調査能力と、その課題解決力を身につけている。
3. 地域の活性化に寄与し、地域と共に創る協調性と実践力を身につけている。

理工学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

理工学部では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 各学科（情報科学科、機械工学科、電気工学科）における基礎的な専門知識を修得し、かつ専門知識を様々なアプリケーションに活用できる。
2. 論理的思考力・コミュニケーション能力・協調性・主体性・技術者としての倫理観を身に付け、創造力・実践力を発揮できる。
3. 情報メカトロニクスに関わる技術・技能を修得し、地域社会の発展に貢献できる。

《情報科学科》

情報科学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 情報技術及び情報数理における基礎的な専門知識を修得し活用できる。
2. 情報分野を基盤とした機械・電気工学の分野において活躍できる。
3. 高い倫理観を持った技術者として円滑なコミュニケーションを図りながら地域社会の発展に貢献できる。

《機械工学科》

機械工学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 機械・ロボット・メカトロニクス分野の仕事で必要とされる基礎的な数理学、機械工学の基礎及びこれらを産業界で生かすことができる。
2. 技術者として必要とされる倫理観、協調性を備え、コミュニケーション能力、問題解決能力を発揮できる。

《電気工学科》

電気工学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 電気回路・電磁気に関する専門基礎の理解の上に、電力と情報通信に関連したエネルギー及びシステムに関する高度な専門知識と技術を学び、これらを実務に適用できる。
2. 技術者倫理を身に付け、論理的に説明・討論するコミュニケーション能力を発揮できる。

生命科学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

生命科学部では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し学位を授与する。

1. 社会・文化・自然に関する幅広い視野と教養を備えている。
2. 化学又は生物学領域の基礎的知識と専門的知識を理解し、活用することができる。
3. 化学又は生物学領域の実験技術を修得し、結果の分析や考察を通して成果をまとめ、発表することができる。
4. 応用化学、生命科学又は食品科学分野に関する課題を積極的に発見し、解決方法を思考することができる。

建築都市工学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

建築都市工学部では、幅広い教養と建築都市工学に関する専門的知識及び技術・技能を学修し、次の実践的能力を備え、広く社会の期待に応えられる学生に卒業を認定し、学士（工学）を授与する。

1. 専門的知識を適切に活用できる能力
2. 論理的に思考し、判断する能力
3. 専門的技術・技能を学修し、創造力・実践力を発揮する能力
4. 多様な人々とコミュニケーションを行い、熱意を持って社会発展に貢献する能力
5. 広い視野を持ち、他者と協力する能力

《建築学科》

建築学科では、次の学生に卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与する。

1. 建築設計・計画、建築歴史・意匠、建築構造・材料・構法、建築環境・設備、都市計画に関する専門的知識及び技術・技能を学修した学生
2. 建築学に関する実践的能力を備え、広く社会の期待に応えられる学生

《住居・インテリア学科》

住居・インテリア学科では、次の学生に卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与する。

1. ①空間、②住居、③業務系施設のインテリア、④住居系複合施設のインテリアの設計に関する専門的知識及び技術・技能を学修した学生
2. 住居・インテリア学に関する実践的能力を備え、広く社会の期待に応えられる学生

《都市デザイン工学科》

都市デザイン工学科では、次の学生に卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与する。

1. 安心・安全で、美しく、自然に配慮した都市や公共施設の計画、設計、施工、維持管理に関する専門的知識及び技術・技能を学修した学生
2. 都市デザイン工学に関する実践的能力を備え、広く社会の期待に応えられる学生

芸術学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

芸術学部では、アーティスト、デザイナー、写真家等のクリエイターや研究者・教育者として次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 芸術の各分野における幅広い知識を備え、適切に活用できる。
2. 芸術の各分野における技術・技能を修得し、創造力・実践力を発揮できる。
3. 高い知性と豊かな感性を備え、社会と文化の発展に貢献できる。

《芸術表現学科》

芸術表現学科はアーティスト、クリエイター、研究者として次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 自律した豊かな思考理論と学際的な専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 高度な表現技術と表現技法を修得し、優れた創造力と審美力を発揮できる。
3. 絵画・立体造形・メディア芸術の芸術表現を通じて、芸術文化の創造に主体的に貢献できる。

《写真・映像メディア学科》

写真・映像メディア学科はスペシャリストとして次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 多様化する今日の社会の要求に素早く対応する幅広い教養と専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 自己を発信する技術・技法を修得し、想像力・実践力を発揮できる。
3. 写真や映像メディアを通じて主体的に社会と文化の発展に貢献できる。

《ビジュアルデザイン学科》

ビジュアルデザイン学科はデザイナーとして次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 現代社会における多様なビジュアルコミュニケーションの専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 編集や伝達に関する技術・技法を修得し、表現力・実践力を発揮できる。
3. グラフィックデザイン、イラストレーションデザインを通じて社会と文化の発展に貢献できる。

《生活環境デザイン学科》

生活環境デザイン学科はデザイナーとして次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 多様化する社会において、豊かな暮らしや環境をつくる専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 造形や構成等の技術・技法を修得し、創造力・実践力を発揮できる。
3. 工芸、プロダクト、空間演出を通じて社会と文化の発展に貢献できる。

《ソーシャルデザイン学科》

ソーシャルデザイン学科はデザイナーとして次の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 将来の地域社会のブランドづくりのための専門知識を備え、適切に活用できる。
2. 情報伝達や企画構築の技術・技法を修得し、提案力・実践力を発揮できる。
3. 情報デザイン、ブランドづくりを通じて地域文化や地域産業の発展に貢献できる。

国際文化学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

本学部では、次の能力を備え、学則で定められた所定の課程を修了した学生に学士の学位を授与する。

1. 諸外国と日本の文化について幅広い教養を身につけ、さらにそれを専門的に探究できる。
2. 文化や国際事情に関する自らの知識や考えを論理的に表現する力を有している。
3. グローバル社会で活躍できる高度なコミュニケーション力と問題解決力を有している。

《国際文化学科》

国際文化学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 現代社会で活躍できる語学力及びコミュニケーション力を備えている。
2. 現代社会の多様な文化や価値観を認識し、いかに行動すべきかを自ら判断できる。
3. 国際社会の動向と問題に高い関心を持ち、その解決方法を広く社会に発信することができる。

《日本文化学科》

日本文化学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 日本文化について、専門的資料や現地調査を通してその課題を把握し、その問題に対応できる。
2. 多文化社会における日本文化のあり方を、グローバルな視点から相対的に思考・判断することができる。
3. 日本文化について学んで得た知識や考えを、言葉や文章を通して論理的に説明し、社会に広く発信することができる。

人間科学部の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

人間科学部が掲げる人材養成の目的に沿って構成されたカリキュラムのもと、人間の成長及び発達過程を心身の両面から学び、人間を支援するために必要な理論的かつ実践的な知識と技術を備えた、以下のような能力を修得した学生に学位（人間科学）を授与する。

1. 積極的かつ多様な方法により、様々な人と豊かなコミュニケーションをとることができる。
2. 人間のこころとからだの発達に関する知識を修得し、専門的援助ができる。

《臨床心理学科》

臨床心理学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 臨床心理学をベースに置きながら、コミュニティ心理学、基礎心理学、精神保健福祉学、社会福祉学など多様な学びにより、人の心や生活に関する様々な問題に対応できる。
2. 他者の心理を深く理解し、様々な人と豊かなコミュニケーションをとることができる。
3. 公認心理師や臨床心理士、精神保健福祉士等の対人援助職として、心の問題を持つ人を援助するための基礎的能力がある。

《子ども教育学科》

子ども教育学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 子どもの心身の健康を、守り育てる確かな知識と技術を修得し、活用できる。
2. 子どもとその家族への共感と人間愛を基盤とした適切な対応ができる。
3. 健康な子どもだけでなく、特別な支援を必要とする子どもに専門的援助ができる。

《スポーツ健康科学科》

スポーツ健康科学科では、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. スポーツ健康科学に関する専門知識を持ち、様々なスポーツ活動、健康行動を支援する取り組みができる。
2. 産業界に貢献できる健康マネジメント（健康経営）の視点を持ち、スポーツ健康関連課題を説明できる。
3. 運動とスポーツを通じ「生きる力」を育成し、子どもから高齢者の地域の人々が心身共に健康で豊かな生活を送れるよう支援できる。

GFBP の学位の授与方針：ディプロマ・ポリシー

人材養成の目的を達成するために、卒業時において学生が身に付けるべき能力を以下のとおり設定する。学位プログラムの基礎となる学問領域の専門的知識・技能を修得し、合計124単位の修得をもって、系統的な履修に基づく人材養成の目的を達成したとみなし、学士の学位を授与する。

1. フードビジネス業界で必要とされる食に関する広い関心を持ち、食とビジネスの基本を体系的に理解し、フードビジネスの専門領域に関する知識、技能及び実践力を身につけている。
2. 所属する学部学科の知識に加え、GFBPや、幅広い学問分野の知識を身に付けることによって、多様な視点を相互に関連付けて、国内外の諸事象を理解できる。
3. グローバルな視点で社会に貢献するために必要な思考力と課題発見力を有し、その課題解決に向けて社会での実践的な行動に移すことができる。
4. 持続可能な社会の発展のための倫理的な態度と責任感を持って、他者とコミュニケーションを取りながら協働できる。
5. 多様な考え方を理解・分析した上で、自分の考えを明確に表現することができる。